タウンタウン小麦

認定NPO法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

認定NPO法人　くまがや小麦の会　since 2006
事務局　〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL 048-521-7801

くまがや小麦の会が10周年を迎えられました

認定NPO法人 くまがや小麦の会 会長　日向美津江

昭和21年6月 生まれ。
昭和40年3月 群馬県立前橋女子高校卒
昭和44年3月 慶応義塾大学商学部卒
昭和44年4月 ライオン油脂(株)入社
昭和46年 同社退社
昭和48年 (株)平松入社
平成19年7月 同社代表取締役会長就任
熊谷商工会議所女性会会長
埼玉県共助社会づくり推進委員会委員

◆平成18年12月　市民団体「くまがや小麦の会」として設立いたしました。（勇気と本気で熊谷活性化）をスローガンに掲げて34名の会員でのスタートでございました。小麦の会発足当時、熊谷商工会議所女性会の中で「熊谷の特色って何だろう」と町おこしの題材探しの議論が交わされておりました。夏の暑さ、気象台が有る、新幹線が止まる、立正大学が有ると挙げられましたが、熊谷は本州一の小麦生産地である事に辿りつきました。中力粉の「農林61号」（現在は「さとのそら」に品種変更）と薄力粉の「彩光」が主力、すでに熊谷の産業として定着しているうどん以外の製品で（小麦で町おこし）と意気込みました。しかし、熊谷商工会議所から生産が伴うので会議所の事業としては適当でないとストップがかかってしまいました。議論に携わったメンバーはもう止められません。そこで市民団体として発足致しました。定款に定める小麦の会の目的は「本州一の小麦の生産地である熊谷の地粉を地産地消の推進により地元への消費を促す活動を行いながら食文化を通じ快適な生活に寄与する事を目的とする」であります。

◆活動の三本柱は　1．熊谷産小麦の普及活動（市の催事への参加、文化的活動の推進、町おこし、生涯教育の実践）　2．ソーシャルビジネスとして地元企業との提携　3．ボランティア活動　を挙げております。10年続けて参りますと、市の催事を主催される市役所、商工会の皆様、県の催事では北部地域振興センター様と絆が築かれたように思われます。会が継続してゆく為には、資金的な構築が成される必要があります。ご入会頂く賛助会員様、一般会員様の会費が当会の活動の原資でございます。加えて当会の製品の直売所をJAくまがや、ニューデイズ、道の駅妻沼、岡部、シネティアラ21、そびあ、熊谷ゴルフクラブ、熊谷市民食堂等16ケ所に開設させて頂けるようになりました。

◆平成24年4月にはNPO法人くまがや小麦の会として法人化致しました。賛助会員様の会費が寄附と認められるので、認定NPO法人への模索を北部地域振興センター様よりご助言頂きました。安定的に100名の賛助会員の登録が必要になります。お陰様で100名の登録はございましたので、組織を整え、認定NPO法人の申請を致しました。埼玉県より平成28年3月4日認可を頂きました。認定は全体のNPO法人の2%、熊谷では初めてです。皆様のご加入を頂き、賛助会員124名、一般会員114名の会に育てて頂きました。認定NPO法人になる事で賛助会費を含めてご寄附は当会の発行する領収書で税制控除の対象となります。活動の原資が受け易い体制が整い、ステップアップに繋げてゆきたいと存じます。

◆市民活動の原点は人と人との繋りであると共に、官民の協働にあるように、認定NPO法人になりまして強く思うようになりました。埼玉県共助社会づくり推進委員会委員を委嘱され、県庁での会を通し、NPO法人の今後の活動領域は官と民の狭間で、官が成すべきこと、民の方が遂行し易いこと官民協働の懸け橋に成り、国庫金の更なる有効活用に寄与してゆくのではないかと考えます。小麦の会活動10年を顧みまして、皆様の御協力を有難く噛みしめております。有難うございました。

くまがや小麦の会これからの活動　副会長　根岸友憲（とものり）

本年3月熊谷市初の特定非営利活動促進法に基ずく、認定NPO法人の資格を得ることが出来ました。

くまがや小麦の会の組織運営が適正で公益の増進など一定の要件を満たしている事が認められたのです。このことは日向会長始め、賛助会員、一般会員の皆様の日頃の活動の賜でもあります。又熊谷市民の皆様や地域の人々にもこれまでの活動が認識されたことでもあると思っております。

小麦の会の設立は平成18年に市民団体として発足以来NPO法人として埼玉一小麦の産地の小麦を100パーセント使用した風味豊かなパウンドケーキやサブレ、地粉を使用したパンを試食販売して熊谷の特産品を育て地域創生の振興に役立つ活動をしてまいりました。試食販売は熊谷市内の各種イベント会場の出店でボランティア活動として行っております。しかしながら、試食販売だけでは法人活動を維持して行くだけの利益を生むのは非常に困難でありましたので、この運営に当たりましてはご賛同いただきました会員の皆様の年会費、寄付金を主な財源として法人としての経営をしてまいりました。

今回認定NPO法人を取得したことによりくまがや小麦の会は会費寄付金等、税制上の優遇処置が受けられることになり会員の増強と維持を図ることにより法人の安定した経営が行われることができると思います。またこの財政基盤の確保により地域産業の振興など幅広い分野での推進に貢献することが可能になると思っております。今後は、熊谷の特産品となるような小麦を使用した商品を開発し、できれば全国的に認められるヒット商品を生みだす事ができれば地元産業に貢献する事が可能になります。今回熊谷の地粉と腸内フローラとのコラボ商品マーブルフローラサブレを開発し販売しております。ホームページも刷新しネット販売も始めました。

これからも小麦の会の活動を地域住民の皆様に認識していただきご協力をいただければとお願い申し上げます。

くまがや小麦の会設立10周年を祝して　副会長　吉田嘉高（よしたか）

平成18年12月に、「勇気と本気で熊谷活性化」をスローガンとして、市民団体としての「くまがや小麦の会」が設立されました。米と麦の二毛作で、さとのそら、あやひかりなどの小麦が栽培され、全国有数の小麦の産地である熊谷で、地元産の小麦を生かして、地産地消の推進活動を行い、食文化を通じて快適な生活の実現に寄与することを目的とすることが活動の主体である団体です。

団体の情報誌である「タウンタウン小麦」も平成23年3月に創刊して、ここに「くまがや小麦の会」設立10周年記念の19号が発刊されますことは、誠に意義深く喜びにたえません。

熊谷の麦作りは江戸時代から始まっています。自然環境に恵まれ良質な小麦を育てていましたが、収穫は不安定で、食糧不足になることもあったようです。そんな時登場したのが、後に「麦王権田愛三」と呼ばれた権田愛三です。早春に行う「麦踏み」と稲作が終わった冬に栽培できるようにした「二毛作」のお蔭で収穫量は4倍から5倍に増えたそうです。

「くまがや小麦の会」として平成24年4月にNPO法人と法人化し、平成27年2月10日に仮認定の許可をもらい、平成28年3月4日に埼玉県知事より認定NPO法人の許可が下りました。認定を貰った関係で賛助会員数は100名以上が条件の一つですから、賛助会員のご理解が戴けますよう願ってます。

私事ですが、全国健康福祉祭大会というスポーツ競技会の催しが毎年開催されます。鹿児島県で開催された時に市内観光で、ある酒造会社を見学しました。

ご存知のように、九州は焼酎が有名です。大分の麦焼酎、鹿児島のいも焼酎とありますが、霧島市の酒造会社の商品で「明日もいい日きっといい事がある」という長い名前の本格焼酎があり、ネーミングが良いので購入して飲みました。そのネーミングの由来は、「人生は山あり谷あり。いろんな出来事にぶつかり泣いたり、笑ったり…明日がとっても心配で このまま目が覚めなきゃいい なんて思った事ありませんか。そんな時 明日もいい日きっといい事がある。素直に言えた夜から 本当にいい事が始まります。」との説明書きです。地産地消を利用して、素敵な商品名でお客にアピールする。

「くまがや小麦の会」でも商品のPRに良いアイデアを考えましょう。

小麦の会 活動報告

6/25(土) 熊谷商業高校販売実習　熊谷駅コンコース

熊谷商業高校の生徒さん達が、くまがや小麦の会製品の他、熊谷市の名産品を販売。準備から接客販売も元気いっぱいで、とても活気のある実習でした。卒業生のお客様も沢山お立ち寄りくださり、熊商オリジナルカレーパンは、あっという間に完売しました。熊商の皆さん、ありがとうございました(R)

7/23(土) 第3回官民協働うちわ祭市役所通り清掃作戦　市役所通り

第3回を迎えた官民協働清掃作戦も賛同して頂いた皆様と無事に終了することができました。今年は清掃区間をお祭り広場寄りの沿道まで広げたため、かなりの収集成果を得る事が出来ました。終了後のマーブルフローラサブレが美味しかったです。(Y.K)

7/30(土)「あついぞ！熊谷」おおさと夏祭り 熊谷市大里総合グラウンド

雀宮園120名の地粉焼きそば講習会を実施。皆さんでお昼を頂き、続いて大里夏祭りに繰り出すダブルヘッダーの催事です。雀宮園をたまたまご訪問下さっていた埼玉新聞の丸山元会長様は大里夏祭りに御参加下さいました。当会の根岸副会長の御膝元で繰り広げられる会は和気藹藹として雰囲気で、ステージも自慢の踊り、歌でいっぱい、最後は抽選会でした。(H)

8/5(金) 第28回くまがや平和寄席 熊谷市立文化センター文化会館

出演は、落語界最古参の三遊亭金馬師匠とあって、会場は沢山のお客様でいっぱいでした。小麦の会は、新発売のマーブルフローラサブレ付きのソフトクリームを販売。オープニングで演舞したよさこいチームのお子さん達に喜んでいただきました。くまがや平和寄席への出店も定着して、実行委員会のスタッフさんと、お馴染みのお客様とともに、楽しい時間を過ごすことが出来ました。(R)

文化財で街おこし
長島記念館　心に響く美と空間

大里地域の小八林に立地する長島記念館は、埼玉県経済界の発展に貢献した長島恭助氏の生家であり、記念館として整備された。石積みの蔵と白壁の長屋門が敷地の前面に位置し、中央には江戸時代に建造された母屋が残されている。後方に雑木林が育まれ、庭には枯山水様式が用いられている。正門右側に位置する2つの蔵は大正9年に建造され、その外面は旧帝国ホテルの表玄関と同質の大谷石が用いられた。現在は展示室となり、長島氏が収集した日本美術史を代表する作家達の作品が展示されている。日本画では川合玉堂や横山大観、小林古径、洋画では中川一政や梅原龍三郎、小磯良平、須田剋太などの名作が観覧できる。渋沢栄一の書や高山彦九郎の日記などの資料も収蔵され、地域の文化拠点としての薫りが感じられる。（熊谷市立江南文化財センター　山下祐樹）

熊谷の道端から　～ゆるゆる散歩雑記帳～
熊谷駅周辺の街路灯

熊谷駅北口方面は幾つもの商店街に分かれていて、よく見ると街路灯のポールに商店会の名が記されている。現在は地図上に無い地名も見られ「なるほど」と思いつつ、注目したいのは商店会ごとに異なる街路灯の形。熊谷駅前は実に狭い範囲に、多種多様なデザインが混在して面白い。南口方面も合わせれば、駅近エリアだけで20種くらいの形が見られる。お洒落に蛇行する駅西通りはメルヘンチックな装飾、陣屋町と呼ばれる地域は千形神社に似合う和風、筑波中央通りや駅南の曙・万平町では豪華に3個使い。街路灯の一大メーカーであるリード社は熊谷市の企業。それを思い出すと、当たり前のように夜道を照らしてくれる街路灯に、時に親しみを込めた目を向けたくなる。（N・T）

会員募集　賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み：TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

創刊2011年3月

あの町この店
がってん寿司 熊谷石原店

店長 田口晃秀さん
〒360-0816 熊谷市石原 2-1
電　話　048-522-2303
営業時間　11時30分～22時(金・土・祝前日は23時迄)
年中無休

がってん寿司をはじめ、とんかつの「かつ敏」「かつはな亭」、ラーメンの「優勝軒」など様々な業態を展開し、全国に直営・FC併せて約200もの店舗数を誇る(株)アールディーシー。その本社は熊谷市石原にあります。そして本社の目と鼻の先に位置し、若々しい活気に満ちた店が、がってん寿司熊谷石原店です。

「がってん承知！」の合言葉が小気味良く響く店内は、いつ訪れても大歓迎ムード。板前さん達もちょっと手を止め、おもてなしパフォーマンスでお客を迎えてくれます。中でも、ひときわパワー溢れる爽やかな雰囲気の店長・田口さんは、社内の早握りコンテストで優勝した精鋭中の精鋭。入店したら、ぜひ手元にもご注目を。人気のネタは大とろ・中とろで使用する、オーストラリアで畜養されたミナミマグロ。広い生け簀で自由に泳がせた魚は、甘みがあり脂のノリも抜群です。

フェアなどの機会に登場する細長いいなり寿司「熊谷いなり」の存在からも伺えるように、同社は今後、本社のある熊谷にも目を向け、地産の素材も上手く取り入れて全国に展開して行きたいとのこと。また昨年熊谷駅前にオープンした、ワンランク上の都心型店舗「江戸前がってん寿司」は、ゆっくりと美味しい魚と酒を味わっていただく空間として、ビジネス用途の地場企業さんから支持を得ています。さいたま市や六本木で成功した業態を熊谷に持ち込み、根付かせた意義は大きいでしょう。（N・T）

小麦の会新発売マーブルフローラサブレ他、小麦の会の商品をおかせていただいております。

認定NPO法人くまがや小麦の会 10周年記念イベント開催
参加者募集　会員外の方もご参加頂けます！

- 日時　10月15日(土) 10:30 会場
- 場所　ホテル・ガーデン・パレス　048-525-7777
- 会費　6000円
- 内容　10周年記念行事　会食・アトラクション 森田義史ピアノコンサート

御申込先　認定NPO法人　くまがや小麦の会
TEL:048-521-7801 FAX:048-521-7900
メール:hyugam@kkhiramatsu.co.jp

イベント出店予定

10月		
3日(月)	高城神社明神市	高城神社境内
16日(日)	第9回ニャオざねまつり	コミュニティーひろば
30日(日)	第3回熊谷市県立高校スイーツ文化祭	八木橋百貨店1F
30日(日)	第10回こうなん祭り	江南総合文化会館ピピア駐車場
30日(日)	奈良フェスタ	熊谷市立奈良小学校
11月		
19日(土) 20日(日)	第12回熊谷市産業祭	熊谷スポーツ文化公園
26日(土)	熊谷商業高校販売実習	熊谷駅コンコース
12月		
18日(日)	第8回ペアリス30km立正大学	立正大学熊谷キャンパス

次号のお届けは2017年2月の予定です。

編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900